

荘内中学校:GIGAスクール構想の徹底による「教育DXの推進」

一人一台の学習用端末整備、高速Wi-Fi環境整備が終わり、GIGAスクール構想実現に向けて次世代型学習指導の創造が推進されている。本校では学習用端末を文房具の一つとして活用する新しい学びを推進するため、学習用端末活用に制限を設けず、生徒は生活の中で自由に学習用端末を活用できるようにしている。教職員は、一丸となってハイブリッド型学習指導を推進するため、授業改革、その他教育活動での活用を徹底し、教育DX(デジタルトランスフォーメーション:未来のまなび、未来の教職員の働き方改革)を推進している。

荘内中学校が進める「先行学習を基盤とした協同学習」による「荘内中:学びスタイル」では、スタディ・サブリ等のアプリの活用やクラウド課題の提示等による予習課題に重点を置いた授業をデザインする。授業では、協同学習の推進により、学習用端末を活用した効果的な学び合いやアウトプット活動等を行う。こうしたまなびの形が「未来のまなび」の姿と考えている。



「未来のまなび」の姿

家庭学習

- ◆事前課題をクラウド配布
 - ・学習内容の予習
 - ・自分の考えを整理
- ◆スタディサブリで予習
- ◆自主学習
 - ・参考となる事項をWeb検索
 - ・オンライン学習教材を視聴

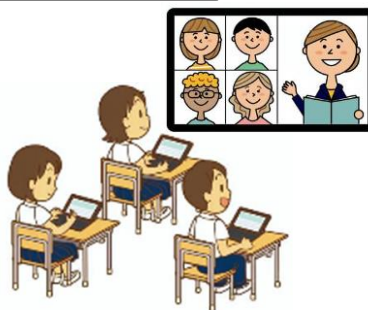
オンライン予習



オンライン授業

- ◆双方向のオンライン授業
- ◆授業動画配信を自主的に視聴

遠隔交流授業



- ◆他校とのオンライン合同授業実施
- ◆生徒会等の交流活動
- ◆学校外の方のWeb講演

通常の授業時間

学習用端末を文房具として活用

協同学習



- ◆授業準備や連絡はWeb上で実
- ◆学習意欲向上のための導入部での活用
- ◆デジタル教科書の活用
- ◆クラウド上で自分の考えを整理
- ◆ペアやグループでの協議を整理
- ◆意見や考えを発表する資料を作成
- ◆それぞれの意見を共有
- ◆疑問に思った事項を自主的にWeb検索
- ◆アンケート自動集計
- ◆クラウド上の小テストや単元テストを実施
- ◆クラウド上の参考動画を視聴
- ◆動画を撮影し学習活動の向上に活用
- ◆撮影した作品をクラウド上で提出
- ◆授業の振り返り等をクラウド上で提出

家庭学習

- ◆振り返り課題をクラウド配布
 - ・学習内容の復習
 - ・自分の考えを整理
- ◆自主学習(学習内容の深化)
 - ・参考となる事項をWeb検索
 - ・オンライン学習教材を視聴

オンライン面談・学活



- ◆会議アプリで双方向の面談実施
- ◆休業中のWeb学級活動実施
- ◆学習内容の質問等

教員の業務改善



- ◆採点システムで業務の効率化
- ◆クラウド上での提出物の整理
- ◆クラウド上での単元テスト等の採点
- ◆生徒の学習過程の把握
- ◆時・場所にとられない課題発信や評価等の実施
- ◆在宅勤務での授業発信
- ◆端末使用によるペーパーレス化促進



この他、生徒会活動や部活動、様々な教育活動場面で活用を推進、生徒の主体性育成の観点で、学校教育活動全体で積極的に学習用端末を活用することが重要である。

全員で進めよう、教育DXで、
未来の生徒の学び方、未来の教職員の働き方を具現化！

